自主・自立、共働・共助
シルバー滝沢

会報　第62号
令和３年１月21日
公益社団法人滝沢市シルバー人材センター
〒020-0654 岩手県滝沢市中鵜飼55番地
TEL　(019) 699-3015
FAX　(019) 699-3039

新年のあいさつ

理事長　齊藤裕夫

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様やご家族におかれましては、健やかに良い年をお迎えられ、心よりお喜び申し上げます。

本センターは、会員が年齢に関係なく雇用によらない就業を推進し、元気老人の多数輩出を標榜、市民目線としての取組みを実践しています。

会員の真摯な就業によって、請負・派遣・独自事業は、各業態とも11月末までの対前年比ではプラスとなり、この傾向を維持することを期待しているところです。

昨年は年明け早々に、新型コロナウィルス感染が世界的に拡大し、本県でも緊急事態の宣言を受け、感染症対策として３密回避を始めマスクの着用・手洗いと消毒などを基本とする防止対策に対応致しました。

この状況を踏まえて本センターの行事・イベントは、感染防止する観点から、６月の定時総会は書面議決による採決、８月の「滝祭」と９月の「安全大会」は中止としましたが、除草のボランティア活動は10月26日にビッグルーフで多数の参加者のもとに実施、ご協力に深謝致します。

また、小物販売が常に好評で、ミニ門松は地元材料を使って製作、福笑いも聞こえるようです。

迎えました本年も、コロナ感染拡大の対策を怠らないことが喫緊であり、会員の皆さんにはコロナ禍を災害として、対策の基本行動に徹し「見えぬ敵」の侵入を許さないため、**コロナを甘く見ない・慣れない・緩めない**ことを意識すると同時に、他県への不要不急の往来自粛が肝要です。

市民・会員から感染者が出ないことを願って挨拶と致します。

年頭のあいさつ

滝沢市長　主濱　了

明けましておめでとうございます。

公益社団法人滝沢市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、晴れやかな新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

令和２年は、全世界で新型コロナウィルス感染症により、各方面に大きな影響を与えました。本市においても、感染者が確認されており、予断を許さない状況となっております。

特に、高齢者や特定疾患をお持ちの方が感染しますと重症化する場合がありますので、皆様におかれましては自分の健康を守るために予防対策を徹底していただきますようお願いいたします。

さて、令和２年12月末で本市の高齢化率は25.43％となっており、年々増加傾向にありますが、元気で活躍する方が多くいることがより重要と考えています。

貴センターにおかれましては、受託作業や各種事業を通じて健康づくりを実践いただいております。市といたしましても、貴センターと協力しながら平成30年に制定しました「健康づくり宣言」に基づいて実践してまいります。

設立から17年目、「公益社団法人」としては８年目を迎えられます貴センターの今後ますますのご活躍を期待するとともに、「自主・自立、共働・共助」の理念の下、皆様が健康で元気にご活躍していただけるよう引き続き支援してまいりたいと考えております。

結びに、公益社団法人滝沢市シルバー人材センター役職員・会員の皆様お一人おひとりのご健康と、さらなるご活躍をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

忘れえぬ ３・１１

～篠木跨線橋での恐怖～

篠木地区 齊藤裕夫

平成23年3月11日（金）、午後2時46分に私はホテル東日本の3階会議室で、県下シルバー人材センター理事長会議に臨んでいた。会議はあと30分かなと思ったその瞬間だった。突然ガガァーンの音と建物が大きく揺れ同時に、シャンディリアが落下寸前まで上下した。誰かが「机の下に入れ！」・「駄目だ、外に出ろ！」と叫び、従業員から「非常階段で外に出て下さい！」と誘導され、桜城小学校側に避難した。外は小雪まじりの寒風で、まだ会議は閉会していなかった。

一端ロビーに集合、県シ連会長から会議の終結が告げられた途端、２回目の揺れ、３回目も大きく揺れた。**大津波警報**が出され、沿岸部から車での出席者は直ちに帰省、交通機関は全てストップ、電車等での出席者は、盛岡市が設置した避難所に避難、**Ｍ９の激震**と発表された。

自車は立体駐車場に収納で機械停止。石鳥谷町の似内理事長と二人で「車の搬出」の交渉するも却下、係が本部課長と打合せの結果、ホテルが送るとの仰天返事、ホテル差回しの自家用車とタクシーが手配された。

私はタクシーで自宅に向かったが、途中でも揺れがあり一番の恐怖は、田沢湖線に架かる跨線橋（ビル３階）の頂点で、おおきな揺れに遭遇・驚愕、跨線橋自体が大きく揺れたため一瞬、鋼鉄の繋目のＶ字落下が頭をよぎった。

私は「無事だったら橋下で料金を払う」として、徒歩で橋下まで下り、タクシーも橋下まで来たので料金を払い、安堵した思いがある。

その晩は、息子たちと余震に悩まされ一夜を明かした。照明は仏壇のローソクを拝借、暖は古い反射式ストーブ、情報は携帯ラジオしかなかった。

震災の訃報は、宮古市在住だった高校同期の古館君、陸前高田駅前に在住だった高校バレー部ＯＢの廣田匡克氏で、後日ご遺体で発見され、合掌してご冥福を祈った。

翌日に通電し、テレビ映像は壊滅的で悲惨な状況の報道、自然界の猛威は計り知れず震災の随所は、今も脳裏から離れたことはない。

３・１１の記憶

～日頃の避難訓練の成果～

川前地区 寺澤昭彦

2011年3月11日の記憶は、今でも生々しく私の人生の記憶に残されている。

その時は、その当時勤務していた会社の２Ｆの事務所で仕事をしている時であった。

急に地震が発生し、避難訓練の通りに机の下に潜り込み地震が止むのを待っていたのだが、一向に収まらず、席の横の天井に設置されている空調ダクトが落下してきたのには驚いた。（頭上でなくて良かった！）地震は更に続き、このままでは危険と考えた人が大声で屋外避難の号令により開始した。

従業員は、避難訓練通り、屋外の避難場所に集合し、今後の状況を見守っていたが、その最中に何度も余震が発生し、社屋の大きな揺れを見て寒さの中、不安を感じていた。

その後、地震が落ち着き、一般社員は即時帰宅指示がだされ帰宅し、管理職は社長が社屋及び施設の被害状況を確認し、今後の対応について協議した後、全員が帰宅した。

私は、その時に考えたことは、週末に海外出張を控えていたこともあり、「今日で良かった」と言う思いがあった。もし、これが１日後だったら、私は空の上であり、「妻と５人の子供たちを心配しながらどうしていたのだろう」と思うとゾッとしたのを記憶している。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りし合掌した。

ボランティア活動

ビッグルーフでの清掃作業

10月26日に市役所前のビッグルーフ側歩道を、会員32名の参加で清掃活動を行いました。

理事長の挨拶と安全確認

剪定作業

草取り作業

作業終了

小岩井市営運動場での整備・清掃作業

10月8日小岩井班の５名が清掃作業を行いました。

作業前

作業結果

◆手づくり雑巾を保育園等に寄贈

会員の皆さんに作って頂いた雑巾が多数集まり有難う御座いました。今後も引き続き宜しくお願い致します。昨今のコロナの影響で寄贈に出向く事が出来なく残念に思っておりました。

施設や保育園では、お掃除などで大変な時だと思います。何かの形でお手伝い出来ないものかと相談し、すずの音保育園とアネックスれいたくに寄贈する事にしました。

会員の皆さんも多忙な日々とコロナ禍で気を緩める事なく元気な皆様にお会い出来る日を心待ちに、自分の身を守り乗り越えましょう。

◆福を呼ぶミニ門松を製作・販売

今年も独自事業の一貫として会員手作りのミニ門松を販売しました。会員の中公義雄、小赤沢仁、澤村與吉の３名が協力して、材料の松、竹、梅をいっぱい持ち込み夜なべで製作し見事に完成しました。

コロナを吹っ飛ばし、明るく笑って過ごせる年にしたいとデザインに工夫を凝らしています。竹の切り口を見て成る程と思って頂けると思います。門松は年神を家に迎え入れるための依り代という意味合いがあります。

ビッグルーフで12月５日から15日まで予約受付して25日から受け渡しを開始、お客様からは大変好評を頂き嬉しく思いました。材料となる松、竹、梅は縁起がよく常緑高木で新しい生命力の象徴となっている松・すくすく伸びる繁栄の竹・美しさを添える風雅な梅、この３つの組み合わせで出来ているめでたい門松です。19組完売し今年も幸多かれと喜びました。

「牧の林すずの音保育園」の元気な園児の皆さんから届いた御礼状の手作り絵です。

福を呼ぶミニ門松

寒中作業の製作会員

各職群班の就業風景

草取り班

刈払い班

剪定班

◎庭木と語る剪定班員を募集！

毎年２月に職群班編成を行い、希望する会員には草取班・刈払班・剪定班・環境整理班のどれかに所属して頂きますが、近年では剪定班を希望する会員は少ないのが現状です。

また新会員の入会説明会には詳細な内容を説明しております。

現在２班だけが就業しています。人手が足りず、翌年に延期や受注を断る事も時々あります。

剪定班の魅力ある活動として市の良好な環境を保全し、安全安心なまちづくりに寄与することにあります。剪定班員は自らの能力と技術を高めるとともに、庭木との楽しい語り合いに興味ある方を広く募集します。まさにユニオン・イズ・パワーで（組織は人なり）希望者をお待ちしています。

◆事務局だより

新型コロナウィルス感染症が拡大しております。

1. 事務所に来訪されるときは、必ずお電話をしてから来訪ください。
（事務所内の密を避けるためです）
2. 事務所に入るときは、手指のアルコール消毒、体温チェック、来訪簿への記入をお願いします。
3. マスクの着用は必ずお願いします。

◆会員状況

令和２年　４月１日現在	250名
令和２年　４月以降入会者	11名
令和２年　４月以降退会者	11名
令和２年12月末時点	250名

◆配分金支払日

12月分１月29日㈮	１月分２月26日㈮
２月分３月31日㈬	３月分４月30日㈮
４月分５月31日㈪	５月分６月30日㈬
６月分７月30日㈮	７月分８月31日㈫

◆編集後記

新年を迎え会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。昨年はコロナで自粛生活を強いられ行事が全部中止で年を越してしまいました。

東日本大震災から10年、被災地の人々が元の生活に早く戻られるよう願うばかりです。暗くなる事ばかりですが本年は世紀の祭典オリンピックの開催が予想されます。

この先一人一人が自身を守り周りの人を守ってコロナの終息を待ちましょう。景気も落ち込み大変な世の中ですがいつかは回復すると信じています。シルバーの行事・作業も今迄通りに出来ます様に、会員皆様の健康を願ってやみません。会報への御意見等皆様の投稿をお待ちしております。

会報編集委員　髙屋純子